

パオちゃん's EYE

2019年12月1日 発行 No.33

昆虫宝箱発見！

2019年11月、岡山県内のとあるチョウ類愛好家（故人）の標本コレクションが博物館へ寄贈されました。

ご家族の方が運んでくださった約30箱の標本箱には、茶色に変色した古めかしいラベルの付いた標本が並んでいました。日付を見ると昭和20年代から30年代の標本が中心で、現在では、見られなくなった産地のチョウ標本が多数含まれていました。この時代の日本は経済的に発展途上にあり、各地に未開発の豊かな自然が残されていたようです。



博物館に届けられた三角紙標本の箱。

「三角紙の標本も一箱あったけど、いらないですよねえ」と標本をお持ちくださった方が言われました。確かに標本化、整理に手間のかかる未展翅の標本は、受け取らない博物館が多いようです。それでもデータが付いていれば標本としての価値はあると思い、「念のためお持ちいただけますか」とお願いしておきました。後日届けられた箱（写真上）をチョウに詳しい岡野貴司さんが調べてくださいました。その結果、なんと、今では国の天然記念物に指定されているウスバキチョウやアサヒヒョウモン、国内希少野生動植物種として嚴重に保護されているウスイロヒョウモンモドキやツシマウラボシシジミといった入手困難な希少種のチョウがザクザクと出てきたのです（写真下）。

ご遺族の方はそんな貴重なものだとご存知ないようでしたが、博物館にとっては正に「宝箱」でした。そのうち、お披露目の展示を計画したいと思います。



ウスバキチョウ



アサヒヒョウモン



ウスイロヒョウモンモドキ



ツシマウラボシシジミ

奥島雄一(昆虫担当)

パオちゃん's EYEに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

